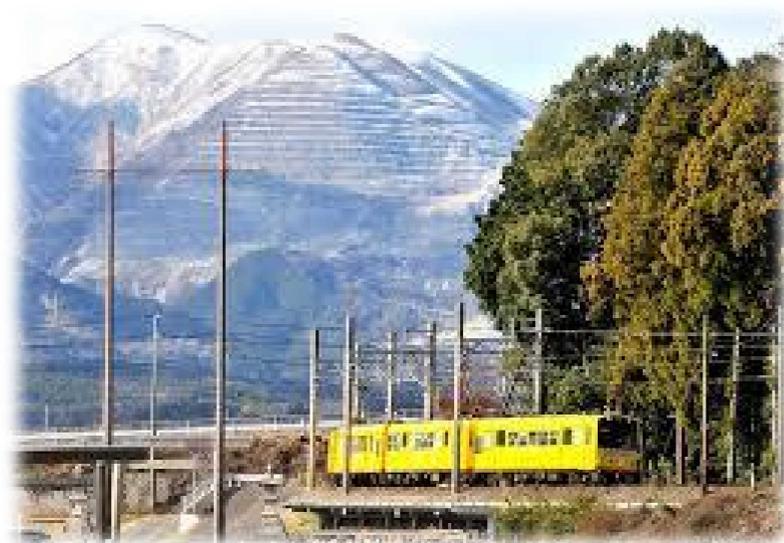


トレインツアー *in* いなべ



代表者 中村桃菜

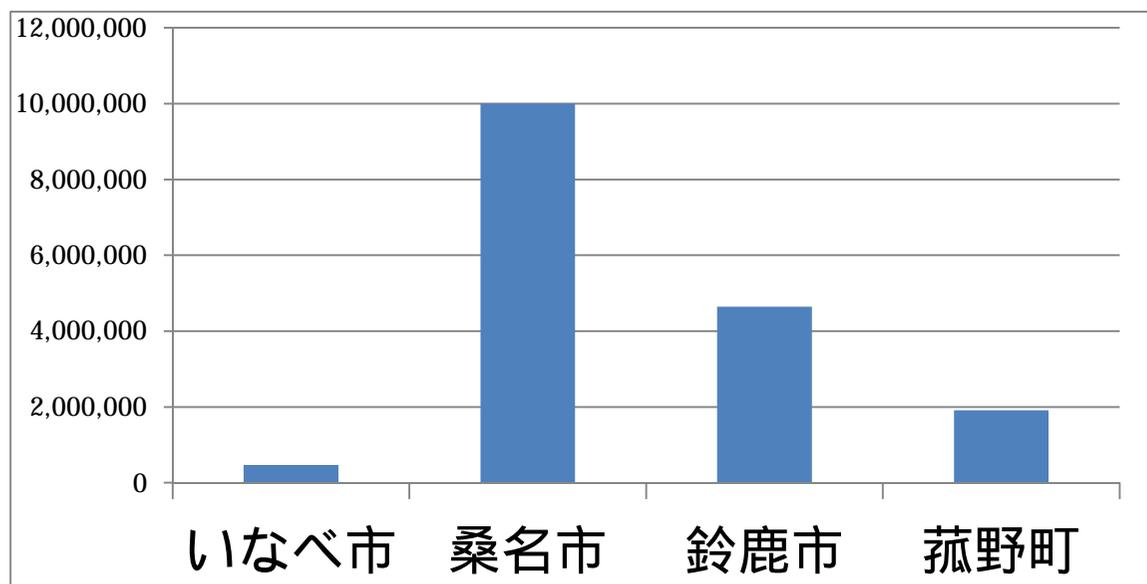
提出日 平成 29 年 3 月 8 日

高校生が思うこないなべ市 になったらいいな！！

- ・遊ぶ場所がもっとできてほしい。
- ・街灯を増やしてほしい。
- ・ガタガタの道路などを整備してほしい。
- ・もっと有名になってほしい。
- ・観光できる場所を作ったら良いと思う。

・ いなべ市の観光業の現状と課題

* 他地域との比較 *



いなべ市の観光の現状を他地域と比べてみた結果この様になりました。比べた年度は多少違うのですが、いなべ市が圧倒的に少ないのが分かります。私たちはこの現状をどう

にかしたいと案を考えました。

* 私たちの提案 *

「北勢線を使ってトレインツアーを企画」

なぜこのような企画を提案するのか。

私たちがいつも使う北勢線は、日本に3事業者しかないナローゲージ鉄道（線路幅762mm）となっておりとても貴重な文化的遺産です。この、とても貴重な北勢線を使ってなにか、企画を計画すればいなべ市の観光客増加に私たちも貢献できるのではないかと思いこのような企画を提案させていただきました。

具体的なツアーの内容

時期 春夏秋冬それぞれ一回ずつツアーを行う。(なるべく季節がはっきりしている時)

誰が いなべ市の人々、私たち

どんな人をターゲットにするか 電車の写真を撮る事が好きな人(通称撮り鉄の人達)・外国人の人達・都会に住んでいてなかなか自然に触れない人達をターゲットにする。

ツアーのターゲットは毎回毎回変えたほうが人が集まりやすいと思う。

例えば 家族連れの人・撮り鉄の人・未婚の女性、男性 etc...

どのように 北勢線に乗り収穫体験をしたり、いなべ市の食材で作ったお弁当を食べたり、阿下喜温泉に入ったりする。

アイデア実行のスケジュール

準備 ・ツアー専用の車両を作りたいので、北勢線に協力を求める。

・大泉駅の「うりぼう」で売っている食材を使ったお弁当を計画する
(お弁当を作ってくれる人を探す)

・大泉駅付近で収穫体験をしたいので畑を貸してくれる人、収穫してもよい食材を提供してくれる人を探す。

・楚原駅付近の「めがね橋」などを撮影スポットとする。

・阿下喜駅で降り、阿下喜温泉に入りたいので、温泉の人達に協力を求める。

この準備がすべてうまくいき、ツアーを行うことができた場合の例え
ばのスケジュールを考えてみました。

西桑名 9時40分出発

大泉 10時09分到着 (収穫体験10時20分から11時00分くらいまで)
(お弁当11時30分から12時30分くらいまで)
(うりぼうでお買い物12時30分から1時)

大泉 13時07分出発 (車内で三岐鉄道のグッズなども販売)

楚原 13時12分到着 (徒歩約20分の所にある“めがね橋”で写真)

楚原 14時42分出発

阿下喜 14時56分到着 (徒歩5分のところにある阿下喜温泉に入る)

阿下喜 17時47分出発

西桑名 18時42分到着

これは、撮り鉄をターゲットにした例えばのプランです。

必要な人員

- ・ 収穫体験の畑を貸してくれる人（収穫体験のお手伝いもお願いする）
 - ・ うりぼうの食材を提供してくれる人。
 - ・ うりぼうの食材を使ってお弁当を作ってくれる、地域の人。
 - ・ 温泉にも入るので、阿下喜温泉の人達。
 - ・ このツアーを進行、案内するガイドさん。
- （できれば、地元の高校生、大学生などで出来たら良いと思う）

必要な費用

三岐鉄道一日乗り放題パス 大人 ¥1,100・子供 ¥550

阿下喜入浴料 小人(小学生) ¥300・ 大人(中学生以上) ¥500・小学生未満無料

お弁当 一人 ¥600 のお弁当としてツアーの定員を 20 人 とすると ¥12,000

収穫体験さしていただける野菜は、来てくれた人に持って帰ってもらいたいのでそのお金も計算する。

ツアー代金は一人 ¥2,500 とする。

$¥2,500 \times 20 = ¥50,000$

このツアーを企画することによって私たちは、いなべ市の経済が潤い、知名度も上がり観光客も増えるのではないかと考えています